

※本件は、まちづくり基本条例に基づく取組み計画・評価表はないため、「第2期瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価表に基づき作成したものです。

取組推進方針	取組み	【条例の規定なし】空き家活用×移住・定住について					
	担当課	市民協働課					
	スケジュール 取組み	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		取組み内容	移住定住相談・情報発信、補助金・奨励金制度、空き家・空き地バンク	移住定住相談、情報発信、補助金・奨励金制度、空き家・空き地バンク	移住定住相談、情報発信、補助金・奨励金制度、空き家・空き地バンク	移住定住相談、情報発信、補助金・奨励金制度、空き家・空き地バンク	移住定住相談、情報発信、補助金・奨励金制度、空き家・空き地バンク
備考							
現況評価及び今後の方向性	移住定住人口の増加を図るため、市内で新築もしくは中古住宅を取得した方を対象に、奨励金を交付します。また、市内の空き家・空き地を所有者の不動産について、市が物件登録を行い、その情報を市ホームページ等で公開し、空き家・空き地の利活用と定住促進を図ります。						

【取組状況など】

1. 本年度（現在まで）に取り組んだ内容

①令和3年度に移住定住ポータルサイトを開設し、ポータルサイトに併せパンフレット・ポスターを制作しました。ポスターは、愛知県のJR駅構内や電車内、名古屋市営地下鉄車内、名古屋市営バス車内に掲出したほか、SNSを活用して移住定住に関する情報発信を行いました。また、移住定住ポータルサイト上に、空き家・空き地バンクの情報を見やすくリニューアルして掲載しました。
 ②市内で新築もしくは中古住宅を取得した方を対象に、奨励金として市内の店舗で利用できる商品券を交付（30万円分を3年に分けて交付）しました。その他にも東京圏からの移住支援金、林業就業支援金等、各種移住に関する支援メニューを設けています。
 ③空き家・空き地バンク登録物件が増加を図るため、令和3年度より「空き家家財道具等処分費補助金」を創設しました。また、空き家・空き地バンクに登録した物件を、居住を目的とする改修工事費用の一部を補助する制度（空き家等改修補助金）を設けているため、広報や市ホームページ等で広く周知を行いました。

2. 取組実施期間

通年（4月1日～3月31日）

3. 本年度（現在まで）の取組実績

①ポスター掲出実績：JR東海の車両内、名古屋市営地下鉄全線、名古屋市営バス全線、JR東海の主要駅構内に掲出、パンフレット作成数：8,000冊。SNSは令和4年1月より、InstagramとTwitterで情報発信を開始。移住定住年間相談件数：65件
 ②支援金等交付実績：移住促進奨励金31件、東京圏からの移住支援金1件、林業就業支援金1件、移住者計：103人
 ③空き家家財道具等処分費補助金交付実績：1件、空き家・空き地バンク成約件数：1件、空き家・空き地バンクの新規登録件数：4件（申請は20件あったが、バンク物件として登録できたのが4件）

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価
①移住定住ポータルサイトでの情報発信、ポスター掲出等の効果があり、本市への移住に関する相談件数が増えてきております（令和2年度から22件増加）。しかしながら、移住相談者から空き家バンクの入居相談が多くあるものの、本市の空き家バンクの登録物件が少ないことから、マッチングまで至らず、令和3年度の移住者とのマッチング実績は1件でした。
(2) 5つの基本原則に関する評価
(3) 評価に対する今後の取組み
引き続き人口減少対策として、移住定住施策を更に強化する必要があるため、移住定住ポータルサイトおよび各種SNS等を有効活用し、継続的に本市の魅力や特徴を情報発信し、相談件数の増加を図っていきます。移住促進奨励金については、令和5年度申請受付までの時限措置であるため、今年度中に新たな移住施策の制度設計を行っていきます。空き家・空き地バンクについては、市内協力不動産事業者との連携をこれまで以上に強化し、また、都市計画課と共有している「空き家カルテ」を基に、利活用が見込まれる空き家については、書面等で空き家バンク登録の働きかけを行っていく等、登録物件の増加を図っていきます。